

## クラブ・レオンが広島国際ユースサッカー大会に出場 ～当親善協会より記念品を贈呈しました～

グアナファト州レオン市に拠点を置き、メキシコ国内では強豪サッカーチームとして有名なクラブ・レオンのユースチームが、2006年より毎年広島で開催されています広島国際ユースサッカー大会出場のため8月3日（水）から12日（金）まで広島に滞在しました。

広島滞在中には、大会出場に向けての練習や地元高校との練習試合のほかに、宮島などの広島観光、広島平和記念公園での平和学習、マツダミュージアム見学なども行われました。

広島国際ユースサッカー大会は、U-17日本代表、サンフレッチェ広島FCユース、広島県高校選抜U-18、そしてクラブ・レオンの4チームが出場し、8月8日（月）、10日（水）、11日（木）に総当たり戦が行われました。

8月5日（金）の夕刻、当親善協会 菖蒲田会長が、クラブ・レオンが宿泊するホテルを訪問して、選手、監督、コーチ、スタッフなど26名に記念品を贈呈しました。

記念品贈呈の前には、菖蒲田会長から当親善協会の紹介を含めた挨拶をしていただきました。続いて記念品として用意しました“三原だるま”を菖蒲田会長が一人ずつ、手渡しました。

最後に全員そろっての記念撮影を行いました。



クラブ・レオンの選手、  
監督、コーチ、スタッフ  
に挨拶をする菖蒲田会長

菖蒲田会長から一人  
ずつ、「三原だるま」を  
贈呈





記念品贈呈後、クラブ・レオンの皆さんと菖蒲田会長

翌日、8月6日（土）は、朝からチームに同行し、午前中、マツダ株式会社様のご厚意で5月にリニューアルオープンしたマツダミュージアムを見学しました。

選手たちは展示されている新旧様々な自動車に大変興味を示し、またガイドの説明に耳を傾けていました。工場内での見学では、自動車の組み立て作業に釘付けになっていました。

同日は、午後から広島工業大学高校との練習試合後、夕闇迫る広島平和記念公園を訪れ、原爆ドームや元安川に浮かぶ灯籠を眺め、77年前の出来事にそれぞれが思いを馳せていたようです。



マツダミュージアム見学の様子





原爆ドーム前での集合写真

■広島国際ユースサッカーの結果

|          |                |       |                |
|----------|----------------|-------|----------------|
| 8月8日(月)  | サンフレッチェ広島FCユース | 0 — 2 | U-17日本代表       |
|          | 広島県高校選抜U-18    | 3 — 1 | クラブ・レオン        |
| 8月10日(水) | サンフレッチェ広島FCユース | 2 — 0 | クラブ・レオン        |
|          | 広島県高校選抜U-18    | 0 — 4 | U-17日本代表       |
| 8月11日(木) | U-17日本代表       | 5 — 1 | クラブ・レオン        |
|          | 広島県高校選抜U-18    | 1 — 6 | サンフレッチェ広島FCユース |



8月10日(水) サンフレッチェ広島FCユース戦



クラブ・レオンの応援に駆けつけた皆さん（U-17日本代表戦終了後）

クラブ・レオンの若い選手たちにとって、広島国際ユースサッカーは大変厳しい結果となりました。負傷者が多く、選手15名の苦しいチーム編成での来日で、しかも高温多湿の日本の気候は追い打ちをかけたと思われます。気丈に、そして謙虚に結果を受けとめ、対戦チームを称える姿勢は必ず大きく飛躍することを予感させました。

今回のクラブ・レオンとの交流は、広島県、当親善協会にとって、今後の更なる友好・交流の発展につながるきっかけとなることでしょう。